

十二月、当校の特別支援学級の隣の空き教室に、巨大なクリスマスツリーが現れました。天井の扇風機から床までビニル製平テープで骨格をつくり、新聞紙を貼り、緑色のテープを垂らした円錐形に、クリスマス風の飾りを付けたものです。三年のA男が、支援員の力を借りながら、一人であつという間につくり上げたものです。一月には緑テープが青テープに替わり、ツリーが富士山に変身。初日の出だそうです。

A男は、自分の思いどおりにならないことがあると攻撃的な言動をする傾向があります。そんなとき、新聞紙等を使って黙々と造形的な活動を行うことで、落々と着きを取り戻すことが度々あります。

A男の姿から、当研究会顧問の川島和弘先生が現職時代に、「これからの時代は、癒しとしての造形教育がより重要になってくる」とおっしゃっていたことを思い出しました。表現による浄化です。子どもたちは粘土が大好きです。手触りを楽しみ、こねること



下越美術教育研究会 副会長 山田 哲哉
(新潟市立小針小学校 校長)

「癒しとしての造形教育」



で癒されているなど感じる瞬間があります。図画工作の授業を見ると、日頃なかなか授業に集中できない子どもも、目を輝かせながら作品づくりに取り組んでいます。「ここはねえ」と自分なりのストーリーを語ってくれます。

科学技術やICTの発達により便利な反面、ストレスも多く、生きづらさを感じる今の時代。だからこそ、様々な感覚を働かせ、試行錯誤しながら自己決定し、思いを実現する達成感を味わうことができる、そして心の安定を図ることが大切にしていきたいものです。今号発行の頃、富士山の隣の桜の木に花が咲いているはずです。

下越美術教育研究会

会報

春季号

令和5年3月10日

下越美術教育研究会

事務局 上 所 小 学 校

<http://kabiken.org>

印刷 ハイングラフ



第18回新潟教育アート展
令和5年1月4日(水)〜8日(日)
新潟市新津美術館



下越美術教育研究会
新潟教育アート展事務局長
若月 良允
(新潟市立巻北小学校)

第18回新潟教育アート展へのご協力ありがとうございました

令和5年1月4日から8日まで、新潟市新津美術館を会場に、第18回新潟教育アート展を開催いたしました。会期中は約5,000人が来場し、盛況のうちに終わることができました。

今年度は、225校の学校園より15,000点を超える作品を応募していただきました。皆様のおかげで、教育アート展が地域に根付いた展覧会として開催できることに感謝申し上げます。

作品展では、「子どもの思いや願い」があふれる作品が集まりました。自分の思いを表すために表現の仕方が考えられ、作品からつくりだす楽しさを感じることができました。

次回の第19回新潟教育アート展でも、子どもたちの豊かな表現に出会えることを楽しみに、企画運営を行っていききたいと思います。展覧会に携わっていただいた全ての方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

第18回新潟教育アート展 活動の様子



真剣な表情で審査される大学の先生と部員の先生方

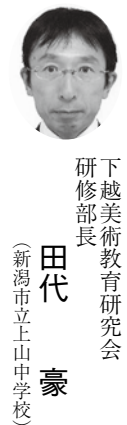


教育アート展の会期中には、大勢の来館者でにぎわいました



グランプリ入賞者とご家族が参加し、表彰式が行われました

「動画・アニメーション部門」
発足に向けて



下越美術教育研究会
研修部長
田代 豪
(新潟市立上山中学校)

新設に向けて今年度は、動画・アニメーションを授業で取り扱うことができるようにと、夏季実技研修を行いました。また、参加された先生方を中心に、動画・アニメーション作品をご提供いただきました。子どもたちの作品はホームページ上で公開しました。
新設に向けて一歩一歩準備を進めています。

令和5年度は、新部門設立周知を目的とするため審査なしのアンデパンダン方式とします。出品作品は原則すべて展覧会会期中に会場内で公開いたします。また、出品の対象者は、小学校五年生以上です。

詳細につきましては今後、他の募集とは別に、年度初めに早々に配付したいと思えます。多数のご応募をお待ちしています。



第63回夏季実技研修会

令和4年8月6日(土) 黒崎市民会館



動画・アニメーションの可能性



夏季実技研修会 講師
堀田雄大
(新潟市立総合教育センター)

今年度の夏季実技研修会では、コマ撮りアニメづくりや、動画編集を行いました。映像作品のもつ造形的な視点は、被写体のもつ形や色彩、動き、全体的な様子などが考えられます。これらの視点を生かして1人1台の情報端末を活用することで、子供が自分だけの映像を制作し、創造的な活動を展開することが期待されます。

参加者の声



堀口博子
(県立五泉特別支援学校)

特別支援学校に勤務していますが、生徒の障害実態に合わせた制作の指導に難しさを感じていました。研修ではタブレットを使った「FlipaClip」などを体験し、自由に自分の描いた線や形を動かすことができることに驚き、「これなら生徒も楽しく学べる！」とワクワクする可能性を感じました。講師の先生方のお話もとても興味深く、参加してよかったと感じました。

冬季オンライン講演会

令和5年1月28日(土)



今年度は、「夏季実技研修会」に加えて「冬季オンライン講演会」も開催しました。中央から著名な講師をお招きして貴重なご講話をいただきます。今年度は、約30名の皆様と一緒に研修することができました。来年度も多くの方のご参加をお待ちしています。



冬季オンライン講演会



研修副部長
尾形美穂
(新潟市立総合教育センター)

今年まで下越美術教育研究会では一回夏季実技研修を行ってききました。今年度も学びたいという皆様の熱意に応えるべく冬季オンライン講演会を行いました。日本体育大学教授 奥村高明様のご講演は、私たち図工・美術に携わる者たちへの熱いメッセージが込められていました。ご厚意で講演の資料をHPにて閲覧できるようになっています。ぜひご覧ください。

参加者の声



小坂井郁子
(田上町立田上小学校)

「人とのつながりの中にすべてが存在している。」ということ、様々なワークショップから、楽しく体験することのできた奥村高明先生の講演会でした。「共同性」を働かせるためには「心理的安全性」が求められるということもとても印象的で、学級作りがすべてに繋がっているということ、また、縁起のなかで生きているということ、を再確認させていただきました。部員ではないのですが、とても参加しやすく、今後の活動に取り組み勇気をいただくことができました。ありがとうございました。

令和4年度 下越美術教育研究会 事業報告

日付	内容	場所
〈令和4年〉		
6月17日(金)	下越美術教育研究会理事会、代議員会、幹事会	新潟・ゆいぽーと
7月4日(水)	新潟県美術教育連盟理事会	オンライン会議
7月22日(金)	下越美術教育研究会会報「夏季号」発行	
8月6日(土)	第62回夏季実技研修会	黒崎市民会館
8月6日(土)	第1回新潟教育アート展実行委員会	黒崎市民会館
8月26日(金) 27日(土)	第74回全国造形教育研究大会 長野大会(下越美研より3名参加)	対面開催 オンライン会議
8月29日(月)	第53回ジュニア美術展覧会運営委員会	オンライン会議
10月6日	第18回新潟教育アート展 募集要項発送	データで送付
11月5日(土)	第82回全国教育美術展 新潟地区審査会協力	新潟・巻南小学校
11月11日(金)	第61回関東甲信越静地区造形教育研究大会新潟大会 兼 第34回新潟県美術教育研究会	オンライン
11月12日(土)～16日(水)	第18回新潟教育アート展 搬入期間	新潟・新津美術館
11月17日(木) 11月18日(金) 11月21日(月)	第53回ジュニア美術展覧会 審査協力	新潟・ゆいぽーと
11月28日(月)	第18回新潟教育アート展 審査会	新潟・新津美術館
12月10日(土)	第18回新潟教育アート展 審査結果発送作業	新潟・真砂小学校
12月28日(水) 12月29日(木)	第18回新潟教育アート展 展示作業	新潟・新津美術館
〈令和5年〉		
1月4日(水)～8日(日)	第18回新潟教育アート展 会期	新潟・新津美術館
1月7日(土)	第18回新潟教育アート展 表彰式	新潟・新津美術館
1月9日(月)	第18回新潟教育アート展 搬出作業	新潟・新津美術館
1月28日(土)	下越美術教育研究会 冬季オンライン講演会	オンライン講演会
2月25日(土)	第2回理事会 第2回新潟教育アート展実行委員会 下越美術教育研究会を語る会(中止)	新潟・ ホテルサンルート新潟
3月8日(水)	下越美術教育研究会 会計監査 新潟教育アート展会計監査	新潟・女池小学校
3月10日(金)	下越美術教育研究会会報「春季号」発行	

令和4年度 決算報告

1 収入の部 227,469円

項目	令和4年度予算	令和4年度決算額	残額	備 考
1 負担金	134,000	135,467	1,467	負担金 400円×347学校園 138,800円 (振込手数料負担額 -3,333円)
2 繰越金	85,102	85,102	0	
3 雑収入	0	6,900	6,900	夏季研修会 参加費(300円×23人)
合 計	219,102	227,469	8,367	

2 支出の部 181,450円

項目	令和4年度予算	令和4年度決算額	残額	備 考
1 県美負担金	20,000	19,000	1,000	
2 会議費	4,000	12,540	△ 8,540	会場使用料 監査旅費
3 事務費	20,000	3,632	16,368	封筒代 USB
4 印刷費	30,000	17,600	12,400	会報PDF作製(夏季・春季2回発行)
5 広報費	23,000	22,807	193	ドメイン使用料・HP年間使用料
6 通信費	20,000	23,823	△ 3,823	切手・文書発送費 Wi-Fiレンタル料
7 研修補助費	60,000	72,048	△ 12,048	講師謝礼 材料費 振込手数料
8 県美大会準備金	10,000	10,000	0	
9 予備費	32,102	0	32,102	
合 計	219,102	181,450	37,652	

3 差引残高

収入合計227,469円 - 支出合計181,450円 = 残高46,019円

上記のとおり、中間報告いたします。

令和5年3月8日

下越美術教育研究会 会 大 矢 奎 哉
(新潟市立日和山小学校)

●●● 編集後記 ●●●

会報「春季号」をお届けいたします。今年度は、対面での夏季実技研修会を開催できました。冬季講演会には、オンラインの良さを生かし遠方の講師の方からご講演をいただくことができました。今年度の活動へのご協力、感謝申し上げます。